

## キーワードの詰め込み過ぎ

### ● タイトルタグにキーワードを詰め込み過ぎている

・「渋谷 整体院」という目標キーワードで上位表示を目指しているサイト運営者が、トップページのタイトルタグに

#### 【トップページタイトルタグの悪い例】

```
<title>渋谷で整体院をお探しならXXX整体・YYY整体で評判の鈴木整体院</title>
```

と書くとGoogleが敏感に反応するタイトルタグに 整体 という言葉を4回も書いていることになる。

→ タイトルタグには、そのページで狙っているキーワードを1回から2回まで書くのが安全で効果的

#### 【トップページタイトルタグの良い例】

```
<title>渋谷で整体院をお探しなら鈴木整体院</title>
```

・トップページ以外のサブページのタイトルタグも例えば料金表のページのタイトルタグに:

#### 【サブページタイトルタグの悪い例】

```
<title>治療料金 | 渋谷駅下車徒歩2分 渋谷で評判の渋谷整体院</title>
```

というように 渋谷 という地域名を3回も書くのは危険。

#### 【サブページタイトルタグの良い例】

```
<title>整体治療の料金 | 渋谷整体院</title>
```

### ● メタディスクリプションにキーワードを詰め込み過ぎている

メタディスクリプションもそのページで狙っているキーワードを1回から2回まで書くのが安全で効果的。文字数はPC版の場合は最大120文字で、モバイル版は最大75文字程度でそのページの紹介文を書く。タイトルタグと同じフレーズにならないように気をつける。

#### 【メタディスクリプションの悪い例】

```
<meta name="description" content="池袋で整体院をお探しならXXX整体・YYY整体で実績のある日本整体協会認定の鈴木整体院。池袋駅東口徒歩2分、第二池袋ビル3階。">
```

#### 【メタディスクリプションの良い例】

```
<meta name="description" content="池袋で整体院をお探しなら実績のある鈴木整体院。池袋駅東口下車徒歩2分でキッズルーム、提携駐車場あり。">
```

## <h1>ホワイトニングの料金</h1>

### ● その他ページ内にあるHタグに毎回同じキーワードを書いている

→ 1つのページ内にあるすべてのHタグにそのページの目標キーワードを含めるのは危険。  
HタグはGoogleが敏感に反応する部分だから。

かといって全く含まれていないとかなりマイナス評価されるので例えば大見出しにH1を使っている場合はそこに目標キーワードを1回含めたフレーズを書いて、他に中見出しとして使っているH2タグが10個あったとして5つから7つ程度まで目標キーワードを含める

そして、小見出しとして使っているH3タグが10個あるとしたらそれらも同様に5つから7つ程度含めるのがコツ。



## ● パンくずリストにしつこくキーワードを書いている

パンくずリスト部分の先頭に

渋谷の整体院「鈴木整体院」>整体の料金表

というようにわざわざ 渋谷 や 整体というキーワードを含めっているとペナルティーを受けやすくなる。

シンプルに:

TOP > 整体の料金表 または HOME > 整体の料金表

と書いて、不必要にキーワードを詰め込むのをやめるべき。

## ● 本文にしつこくキーワードを書いている

矯正歯科で実績の歯医者鈴木矯正歯科医院は矯正治療が必要な患者様のために最適な矯正治療計画をご提案します。矯正治療には、スピード矯正、マウスピース矯正、裏側矯正、ワイヤー矯正など、複数の方法があります。リボン歯科・矯正歯科グループは、8,500症例※を超える実績から、患者さまに合った矯正治療をご提案させていただきます。

## ● 同じ意味のキーワードを頻繁に()を使うなどして本文にしつこく書いている

雛人形(ひな人形、お雛様)の選び方を解説

雛人形(ひな人形)は、  
どこを見て買えばいいの・・・？

雛人形は、雛の雛を雛と書かれます。  
でも、どこを見て買ったらいいかわかりません。

お雛様ってある・・・  
雛人形ってある・・・

雛人形は、雛の雛と書かれます。  
でも、どこを見て買ったらいいかわかりません。

雛人形は、雛の雛と書かれます。  
でも、どこを見て買ったらいいかわかりません。

雛人形(ひな人形、お雛様)の選び方を解説  
雛人形(ひな人形)は、どこを見て買えばいいの・・・？

・ALT属性には最低限の言葉を入れるだけにする。詰め込みは低品質ページになる原因になりやすいのでしてはならない。

```
<!-- お客様の声-->
<p>
<table width="488" height="167" border="1" bordercolor="#FFFFFF">
```

```
<td><a href="/entry/ginza-calla.html" target="_blank">銀座カラー</a></td>
<td><a href="/entry/tbc.html" target="_blank">エステティックTBC</a></td>
<td><a href="/entry/granmore.html" target="_blank">グランモア</a></td>
```

## ● メニューリンク部分にしつこくキーワードを書いている

・各リンクブロック内でのキーワード出現頻度は50%以内にする。  
目標キーワードを含めないと意味が通らないもの以外には書かないようにする。  
→ 各テキストリンクブロック出現頻度50%以下の法則

× 危険

リフォームの種類  
一戸建てリフォーム  
マンションリフォーム

◎ 安全

リフォームの種類  
一戸建て  
マンション

## ◎ 安全

### 加齢臭に関する記事

- ・ [加齢臭とは](#)
- ・ [どんな臭い？](#)
- ・ [加齢臭の原因](#)
- ・ [ノネオールについて](#)
- ・ [発生しやすい場所](#)
- ・ [発生しやすい年齢](#)
- ・ [体臭との違い](#)
- ・ [女性の加齢臭](#)
- ・ [男性に多い理由とは？](#)
- ・ [加齢臭予防の基本](#)
- ・ [防止する食事、食生活](#)
- ・ [各種グッズについて](#)

●全ページの一番下のコピーライト情報の部分にわざと目標キーワードを過剰に記述している  
全ページの一番下のコピーライト情報の部分にわざと

Copyright 2019 渋谷で整体院をお探しなら「渋谷整体院」All rights reserved.

と書くのも過剰SEOの原因になりやすいので注意すべき。

ページの他の部分にキーワードを詰め込んでいなければ問題は無いが、詰め込んでいる上にさらに

Copyright 2019 渋谷で整体院をお探しなら「渋谷整体院」All rights reserved.

と入れるのはキーワードの詰め込みの原因を自ら作ることになる。

この場合適切な書き方はシンプルに:

Copyright 2019 All rights reserved. または英語・ローマ字で Copyright 2019 Shibuya Seitaiin All rights reserved.

と書くことが安全。